

学校概要

創立 70 周年	学校長 諏訪部 真史	副校長 玉置 恭美	学期 3 学期制	児童・生徒数 759 人
学級数 一般級: 21 個別支援級: 3			主な関係校: つつじが丘小・さつきが丘小・藤が丘小・谷本小	

学校教育目標

たくましく、生きる力を育むために

○自ら学習に意欲的に取り組む姿勢と、確かな学力を育てます。【知】
 ○豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。【特】【公】
 ○自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を育てます。【体】【開】

素敵に Communication !! — 自分が輝く、みんなも輝く、谷本中学校 —

学校の特徴

- 基礎・基本の確実な定着を図るため、少人数T・T授業の取組を継続してきており、その成果が出ている。更に学習相談の充実を図り、生徒一人ひとりを大切に指導を一層深める必要がある。
- 学校生活のスタートに朝読書を取り入れており、落ち着いた学活、授業へと継続できている。
- 地域には「谷本中学校の教育を支える会」があり、教育活動の補助やお弁当ボランティアなどで積極的に学校とのかかわりを持っている。
- 地域や教師は、生徒が積極的にあいさつする姿を見られることを望んでいる。
- 皆が安心できる暖かい学級づくりを教師・生徒で協働して取り組む。

学校経営中期取組目標

- ①生徒一人ひとりの学習意欲を高め、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む「生き方の教育」を推進します。
- ②人権尊重を基盤に置き、豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。
- ③教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組みます。
- ④生徒の実態や地域の特性を生かした教育課程の編成と運営に努め、「開かれた学校づくり」を推進します。

小中一貫教育の取組

谷本中	ブロック	つつじが丘小学校・さつきが丘小学校・藤が丘小学校・谷本小学校
9年間で育てる子ども像	○まちと豊かにかかわり合いながら共に学ぶ子ども ○人・もの・ことのかかわりを通して、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・4小学校と本校の年間交流カリキュラムを作成し、教員の交流会、合同研修会を通じてよりよい小中一貫カリキュラムを検討・実践していく。 ・小中の子どもたちが学校行事等で交流できるように学校間の連携を強化する。 ・各小学校の6年生に中学校の授業や部活動の体験をする機会を設け、期待と安心感をもって進学できるようにする。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	言語活動を充実させ、知識や技能の習得のみならず、学習意欲の向上や主体的な問題解決力を定着させる授業を行う。	①言語活動の充実を目指し、授業内でのグループ活動を活発化させ、正確に「聞く・話す」力を身につけさせる。②夏休みの前後3日間ずつ学習相談を実施し、基礎基本を中心に学習支援を行う。③朝読書を実施し、読書活動を充実させて言語能力の向上を図る。
豊かな心	学校行事や各教科の活動を通して、生徒の豊かな感性を培い、人権感覚を育み、人とのかかわり合いの中で思いやりを持った行動や発言ができる心を育て	①「体育祭」「合唱コンクール」等、学級・学年・学校全体へつながる生徒自治活動の体験を通して、協力や他者への思いやりなどを意識させ、望ましい人間関係と自己を生かす能力を育てる。 ②「国際平和スピーチコンテスト」「人権作文」を通し、人権尊重や自分たちの身近な社会、
健やかな体	生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育成する。	①新体力テストの結果を基に、体力向上に向けて生徒一人ひとりの目標を定め、日々の教育活動の中で実践していく。②一校一実践運動として、体づくり運動の時間に縄跳び(短縄、中縄、大縄)を行う。大縄を体育祭の種目としても取り上げ、昼休みにクラスで計画的に行う。③夏休みに体力向上に向けて、「チャレンジなわとびマラソン」を行う。
特別支援教育	個々の特性に応じた指導ができるように情報交換を定期的に行い、関係機関との連携を密にとり丁寧な支援を行う。	①支援を必要とする生徒の情報収集をもとに、人的・環境整備を充実させて、教職員の共通理解を図る。②保護者及び本人の思いに立ち、個別支援計画を作成するとともに適切な支援を行う。
生徒指導	教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに立った支援を心がけ、いじめ等の未然の取組に全職員である。	①生徒が心休まる居場所となる学級づくりを行い、学級会活動・学級指導の充実を図る。 ②いじめ防止基本方針にそった状況把握と早期対応に心がける。③日頃の生徒理解を充実させるために月一回の案えーとを実施する。④不登校支援アプローチを効果的に活用する。
キャリア教育	将来の夢に向かって、自ら情報を収集・整理しながら、必要となる知識や技能を習得し、それらを活用しながら社会の変化に対応する力を育てる。	①地域の方々の協力のもと、1年生では「出前授業」、2年生では「職場体験学習」を実施する。そして3年生では、PTAと連携して今後の自分の進路を考えるための「進路学習会」を実施し、学年ごとに系統性をもった指導を行う。
地域連携	生徒の実態や地域の特性を生かした教育課程の編成と運営に努め、「開かれた学校づくり」を推進する。	①地区懇談会の運営、推進に保護者と連携し、より意義のあるものにする。②地域行事への参加を計画的に行えるように情報収集に心がけ、多くの生徒・職員が関わり合う。③学校運営協議会を年3回実施し、学校運営に生かす。

人材育成・組織運営	教職員の指導力向上を目指し、様々な教育課題に対して組織的な対応を心がける。また、教職員間の連携を深め、メンターチームを充実させ、実践力向上を図る。	①組織の効果的運営とモデルリーダーの育成を目指し、主幹教諭と連携を取りながら教職員育成に繋がる研修を行い意識の向上を図る。②校内研修を計画的に実施し、教科指導、生徒指導・理解、危機管理能力など、学校に求められる教師力の向上に努める。③教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組む。
担当	人材育成委員会	